

別紙様式2

記入参考例（博士課程修了者の場合）

履 歴 書

ふりがな		性別	旧 氏 名
氏名		男・女	
生年月日	年 月 日生 (満 才)		年 月 日改姓
現住所			

学歴（高等学校卒業から記入のこと。）

年 月	学校名・学部学科名及び卒業・修了等の別
1989.3	・・・・・・・・・・県立・・・・・・・・・・高等学校卒業
1989.4	・・・・・・・・・・大学医学部医学科入学
1995.3	同上卒業
1995.4	・・・・・・・・・・大学大学院医学研究科博士課程入学
1999.3	同上修了

免許・資格

年 月	事 項
1995.5	第・・・・・・・・回医師国家試験合格
1995.5	医師免許取得（医籍登録第・・・・号）
1999.3	医学博士（・・・・・・・・大学第・・・・号）
2005.3	〇〇認定医
2006.3	〇〇指導医
2007.3	〇〇専門医

職歴及び研究歴

(動物実験施設管理の経験を含むこと。事項ごとに始期と終期を明らかにすること。)

年 月	事 項	発令庁等
1999.4	.....大学医学部附属病院医員 (.....科)	.....大学長
2000.1	同上退職	
2000.2	国立.....病院医師 (.....科)	.....病院長
2004.3	同上退職	
2004.4	.....大学医学部研究生入学	.....大学長
2005.3	同上退学	
2005.4	.....大学医学部附属病院助手 (.....科)	.....大学長
	現在に至る	

学会及び社会における活動

年 月	事 項
1995.6	日本.....学会会員、現在に至る
1996.3	日本.....学会会員
1999.3	同上退会
1997.5	日本.....学会会員、現在に至る

賞罰及び業績の有無の項は、記入参考例では省略した。

別紙様式 2

履 歴 書

ふりがな		性別	旧 氏 名
氏名		男・女	
生年月日	年 月 日生 (満 才)		年 月 日改姓
現住所			

学歴（高等学校卒業から記入のこと。）

年 月	学校名・学部学科名及び卒業・修了等の別

免許・資格

年 月	事 項

職歴及び研究歴

(動物実験施設管理の経験を含むこと。事項ごとに始期と終期を明らかにすること。)

年 月	事 項	発令庁等

学会及び社会における活動

年 月	事 項

賞 罰

年 月	事 項
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>氏 名 印</p>	

※業績の有無（該当するものに○印をつけること。）

1. 著書	有（別紙様式3の1に記入）	無
2. 学術論文	有（別紙様式3の2に記入）	無
3. 学会発表	有（別紙様式3の3に記入）	無

## 業績目録の記入要領

1. 業績目録は、1. 著書，教科書，2. 学術論文，3. 学会発表の3大区分とし、後記の各小区分に従い、それぞれの用紙の欄外に示してある様式に従って記載してください。  
用紙不足の場合は通常のコピー用紙A4で複写して使用してください。
2. 大区分毎に、和文、欧文等の区別無く、著者名は、論文等に記載の順に全員を記載し、本人氏名に下線を付してください。各業績間は1行あけてください。
3. 学術論文は学術誌に既発表（掲載受理を含む）のみとします。  
原著・症例報告・総説の3小区分とし、現在から順に発表年を過去に遡り記入してください。  
①corresponding author には著者名の後に\*を付けてください。  
②直接指導した論文には、出版年の次に（直接指導論文）を加えてください。  
③最後に、査読の有無を、[査読有]または[査読無]として示してください。
4. 学会発表（研究会を含む）は、本人演者のみを10編以内記載してください。  
一般講演以外のものについては、（招待講演），（Invited Lecture），（シンポジウム）（Symposium）などとして、演題名の後に記載してください。
5. 全業績目録は提出書類として一冊に纏めて綴じ、通し頁番号を付してください。

### 別紙様式3の1

業 績 目 録（記入参考例）		氏名
1 著書，教科書		
番号	著者名：題名．書名．編集者名．出版社名，始—終頁（年）	
1	<u>Miyazaki T.</u> , Hyuga I.: Cryofixed freeze substitution of mammalian tissue culture cells. In: Immuno-Electron Microscopy. Eisenbach, Osafune(eds). Springer, 233-240 (2005)	
2	宮崎太郎：第1章 細菌とは．最新医科細菌学 改訂第4版．清武二郎，宮崎太郎（編）．日向出版，1-17（2004）	

別紙様式3の2

業績目録（記入参考例）

2 学術論文(原著, 症例報告, 総説の順に記入すること。)

		氏名	
番号	著者名：題名．学術雑誌名 (Index Medicus), 巻：始—終頁 (年) [査読の有無]		
	原著		
1	<u>Miyazaki T.</u> , Hyuga I.*: High-pressure freezing provides new insights into fine structure and subcellular localization of H <sup>+</sup> /K <sup>+</sup> -ATPase in gastric parietal cells. J. Histochem. Cytochem., 18:57-66 (2006) [査読有]		
2	.....		
	症例報告		
1	Oyodo R., <u>Miyazaki T.</u> , Kibana H., Hyuga I.*: Successful laparoscopic management of chylous ascites following laparoscopic radical nephrectomy. Int. J. Urol., 45:519-521 (2007) (直接指導論文) [査読有]		
2	<u>宮崎太郎</u> , 木花姫子, 清武二郎*: 腎癌との鑑別が困難であった腎門部 Schwannoma の1例. 泌尿器科紀要, 32:519-521 (2001) [査読有]		
3	.....		
	総説		
1	木花姫子, <u>宮崎太郎</u> , 日向一郎*: ゲノム解析から見えてきた腸管出血性大腸菌の毒素及び病原因子の新知見. 化学療法の領域, 18:367-377 (2008) [査読無]		

別紙様式3の3

業績目録（記入参考例）

3 学会発表（本人演者のみ。）

		氏名	
番号	発表者：演題名(講演種名). 学会名, 開催場所, 開催国 (国際学会のみ記載) (発表年)		
1	<u>宮崎太郎</u> , 木花姫子, 日向一郎: 透析患者両側腎癌の1例, 第80回九州泌尿器科連合地方会学術集会, 福岡 (2008)		
2	<u>Miyazaki T.</u> , Kibana H., Kiyotake J.: The functional transformation of gastric parietal cells (Invited Lecture). 13 <sup>th</sup> International Microscopy Congress, Sapporo, Japan (2003)		
3	.....		

# 業 績 目 録

1 著書, 教科書		氏名
番号	著者名: 題名. 書名. 編集者名. 出版社名, 始-終頁 (年)	

## 業 績 目 録

		氏名	
2 学術論文（原著，症例報告，総説の順に記入すること。）			
番号	著者名：題名. 学術雑誌名（ Index Medicus）, 卷：始—終頁（年） [査読の有無]		

corresponding author には\*を付しています。

# 業 績 目 録

## 3 学会発表（本人演者のみ。）

氏名	
----	--

番号	発表者：演題名(講演種名). 学会名, 開催場所, 開催国 (国際学会のみ記載) (発表年)